



キノコが食べたい

Qちゃん 先生！僕、キノコが大好きなんだ。野生のキノコは、放射性物質を含んでいることが多いって聞いたんだけど。

つぼくら先生

確かに露地に生えている野生のキノコ類は米や野菜、果物と違って放射性物質を吸収しやすく汚染されやすいといわれているよ。キノコ類は、相馬市、福島県に限らず出荷制限が解かれていない地域は多いね。

市は、市民の皆さんが安心して食品を食べるように、自家消費野菜などの放射性物質測定結果や食品安全基準値（食品1kg当たりセシウム134・137の合計が100ベクレル）を超えた食品など、放射性物質の測定に関する情報の周知に取り組んでいるよ。

Qちゃん それじゃあ、やっぱり野生のキノコは食べちゃダメなのかな。

つぼくら先生

食べても大丈夫かどうか？と言われると実際にそのキノコ類が含んでいる放射性物質の量と食べる量によって答えが変わってくるよ。

これまでも話してきたけど、放射線が体を与える影響は放射線の「ある」か「ない」かではなく、被ばくする「量」の問題だよ。私たちは原発事故前から自然の放射線によってある程度（年間約2.1ミリシーベルト）は浴びていたんだ。

飯に基準値に入る限界ぎりぎり（1kg当たり100ベクレル）のセシウム137を含んだ食品を大人が100g食べると、0.00013ミリシーベルト内部被ばくと計算されるんだ。とても小さな値なことは分かるよね。

これを1年間、毎日100gずつ食べたとしても、年間ではおよそ0.05ミリシーベルト程度。これでも国の基準の20分の1程度だね。ちなみに胸のレントゲンは1回あたり0.06ミリシーベルト程度だから同じくらいの被ばくだね。これで体がどうこうなることは決して無いよ。

Qちゃん 放射性物質を含んでいるものであっても、食べる量が少しだったら体に入る放射性物質も少しだし、影響も少ないってこと？

つぼくら先生

そのとおりだね。けど逆に、汚染が非常に強いものを毎日毎日食べてしまうとそれなりに被ばくしてしまうということでもあるね。

だから検査を受けていない野生のキノコは、それがどの程度の放射性物質を含んでいるかを確認してから食べることが大事だよ。

市は、市役所や各公民館などで自家消費野菜などの放射性物質の測定を行っていて、野生のキノコ以外にも家庭菜園で採れた野菜や山菜、魚などの食品も測定することができるから活用してみようね。

もちろん、スーパーで販売しているキノコは検査を受けているものだから安心して食べられるよ。

●問い合わせ先 放射能対策室 ☎ 37-2270

今回Qちゃんが分かったこと

- ▽放射線が体を与える影響は放射線の「ある」か「ない」かではなく、被ばくする「量」が問題であること。
- ▽検査を受けていないものは、それがどの程度の放射性物質を含んでいるかを確認してから食べること。

自家消費野菜などの放射性物質測定結果

●7月分 ▽測定件数 28件

（内訳…野菜 20件、果実 6件、魚 2件）

▽基準値を超えた食品 0件

●相馬市で出荷制限などを受けている食品（8月1日現在）

▽くさそてつ（こごみ）▽た

けのこ▽ふぎのとう（野生）

▽ぜんまい▽たらの芽（野生）

▽原木しいたけ（露地）▽原

木なめこ（露地）▽野生きの

こ▽こしあぶら▽うど（野生）

▽牛（県の定める出荷・検査

方針に基づくものを除く）

※最新の情報は、福島復興ス

テーションホームページ内

の「農林水産物の緊急時環

境放射線モニタリング結果

【詳細】でご確認ください。

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/portal/non-kekah.html>

◎これまでの食品の検査結果

（相馬市ホームページ）

<http://www.city.soma.fukushima.jp/housyasen/index.html>

●問い合わせ先 放射能対策

室（☎ 37-2270）